

「一日体験ボランティア」報告

第1回 「やってみよう 車いす社交ダンス」

平成 25 年 8 月 31 日(土)19:00～20:30 実施

今年度第1回一日体験ボランティア～やってみよう車いす社交ダンス～が弘前市身体障害者福祉センター内の体育館で行われ、“青森 N・G・U”の皆さんの車いす社交ダンスに参加させていただきました。

“青森 N・G・U”の「NGU」は「Never Give Up（あきらめない）」の頭文字から取ったもので、「障がいのある人となない人が仲間意識を持って、互いに協力し合い楽しい人生を送ろう」を基本姿勢に集まった会であり、普段、体育館で障がい者と健常者が一緒に車いす社交ダンスを踊ることのほかに、施設や体育祭などでの披露も時々行っているとのこと。

初めに“青森 N・G・U”の皆さんに「ボックスルンバ」を披露させていただきました。車いす社交ダンスとはどのようなものなのか見ていただいた後に、参加者の皆さんにも“青森 N・G・U”のみなさんを相手に、「ボックスルンバ」を踊っていただき、立って踊る人(スタンディング)と車いすに乗って踊る人(ドライバー)の両方を体験させていただきました。

今回の参加者の中にはダンス経験者もいましたが、普通の社交ダンスとは違い、車いすを動かすということは意外に難しかったようです。

車いすは社交ダンス用の車いすを使用しており、回転や移動は普通の車いすに比べてかなりスムーズですが、見るのとやるのは大違いで最初はかなり苦戦していました。

踊っている内にだんだんコツをつかんできたようで、あちこちで笑い声が聞こえ心地よい汗をかきながら皆さん楽しんでいました。

最後は“青森 N・G・U”の皆さんに本格的な「タンゴ」と「クイック」を披露していただき終了となりました。

最後の「ひとこと」では「楽しかった」という感想が多くありました。

参加者の皆さんには、今回の「一日体験ボランティア」によって、「車いす社交ダンス」という障がいのある人となない人が共に楽しむことができるボランティアを体験していただけたのではないのでしょうか。

「一日体験ボランティア」は、ボランティアに興味がある、あるいはボランティアをしてみたいと考えている市民を対象に、ボランティア活動のメニューを提供し、ボランティア活動をはじめめるきっかけとしていただくものです。

今年度は4回を予定しております。内容等は、広報ひろさき、チラシ、ブログなどでご確認ください。